

A0302-02	開放された系への異物混入を防止せよ		
本文	クーリングタワーなど開放された部分に外部から粉塵などが侵入し蓄積することにより、循環ポンプの故障・破損などのトラブル原因となるので、この予防策を立てておくこと		
リスクの種類	機器破損	関連目次・章節	
理由(何故)	外気から混入した粉塵などの異物は系のある部分に蓄積し、突如それが循環ポンプなどの機器に流入して機器故障の原因となり得る。		
方策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開放部はできるだけなくすると共に、必要な開放部は高所などの人が近づかない場所にする。 2. 保護ネットで覆うなどの方策を講じる。 3. 極力ポンプの吸入側にグレイティングや金網などサクシオンフィルターを設置し、機器を保護する。 		
事故例	開放型クーリングタワーの水の循環ポンプを、屋外の GL に設置して稼動していたところ、冷却水の中にダストや砂などが混入したために、水の循環ポンプが破損した。地面に堆積したダスト・砂などが風で舞い上がり、空冷中の水に混入したためである。対策として、クーリングタワーを GL より一段高い位置に移設し、地面より舞い上がるダスト・砂などの混入を防いだ。(失敗知識 DB: 機械:)		
法的参考事項	特になし		
備考	特になし		